

南あわじ市 平成 24 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

基本事項

		整理番号	422
事業名	縁結び事業推進協議会負担金	予算科目	会計 一般会計・1 款 民生費・3款 項 児童福祉費・2項 目 少子対策費・7目
担当部課名	健康福祉部 少子対策課		
電話	0799 - 44 - 3040		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】	
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える	

Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 行政、企業、地域、ボランティア等が一体となって、未婚者の出会いの場を提供する「ハッピー-マッチの会」、未婚者の出会いの場所の提供等を円滑に推進する「ハッピー-応援団」を設置し、未婚者の結婚促進を図る。		
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) ・ハッピー-マッチによる交流イベントの開催 ・おたすけ企業(ハッピー-応援団)による交流イベントの開催 ・おたすけ隊(ハッピー-応援団)による縁結び(見合い)相談、イベント企画 ・協議会が親の縁結び事業を開催		
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等) 市長はじめ、自治会、消防団、商工会等の各種団体の代表、市内の事業者、提唱団体等で構成する。		
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体 <input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	・総務費 250千円 広報費 @105,000円×2回=210,000円ほか ・交流事業 450千円 交通費(バス) @150,000円×2回=300,000円ほか		
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	471	1,115	691	700	700
	縁結び事業推進協議会負担金	471	1,115	691	700	700
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国			100		
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	471	1,115	591	700	700
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,339	1,241	986	961	961
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.7	26.7
	事業量1(事業に要した日数)	24	22	18	18	18
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2	2
	年間経費([A]+[B])	1,810	2,356	1,577	1,661	1,661
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成23年度まで決算額。平成24年度決算見込額。平成25年度当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 成婚15組の報告があり徐々にであるが実績が上がってきている。(H24.3末現在) ・ルピ-マジック交流イベントで成婚 8組 ・おたすけ隊の相談・企画による成婚 6組 ・親の縁結びによる成婚 1組 全ての出会いの場において、事業経費は参加者負担が原則。参加しやすい料金設定のために、バス借上げ料を協議会が負担している。女性の参加者募集では、県のこのとりの会、ひょうご出会いセンターの協力を得て広報経費の削減に努めている。				自己評価 (5点評価)
	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				4
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 未婚・晩婚の解消は、当事者のみならず親や親戚の悩みでもあり、結婚したい人が交流できる場の創出を願う市民ニーズは高いと思われる。本協議会のほかにも、県や他市でも出会い提供の取り組みが増えてきており、淡路市では会員制の継続的な取り組みがH23年度末からスタートしている。 ルピ-マジックの交流イベントに市内女性の参加者が少なくなっていることから、これまでの会員制による参集方法を工夫し、広く女性が参加できるイベント開催をしていく必要がある。				自己評価 (5点評価)
	自己評価をふまえた現状分析 南あわじ市の女性参加者が減少しているの で、市内女性の参加者増が今後の課題である が、島内で行っている出会いイベントが開催される ようになってきたので、女性は分散して参加 していると思われる。参加する機会が多ければ 成婚に結びつく可能性も多くなるので、他のイ ベントとすみ分けをして継続実施していくことが 必要である。 イベント交流が不得手な人へは、おたすけ隊に よる個別の縁結び(見合い)相談で加-しても らっている。相談活動との相乗効果で成婚数が 増えてきたので、今後も連携を取り合って両輪 として事業展開を進めていく必要がある。				4
総合評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p> </div>				

Action & Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成25年度にできる改善・改革	平成26年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>ハッピーマッチは会員制で、行政が実施する結婚促進事業として安心感と信頼がある。反面、リピーターが増え、交流に変化が少なくなっている。今後は、交流範囲の拡大と興味深いイベントを展開していくことが必要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>本協議会の構成団体である南あわじ市社会福祉協議会や、おたすけ企業などが独自でイベントを実施している。それらのイベント情報をハッピーマッチ会員へ提供することで、選択肢を多くし、かつ参集範囲を広げ新しい出会いの場としてもらう。</p> <p>平成23年度から、本協議会の構成団体が実施する結婚促進事業に対する補助金制度ができています。制度活用を促進し、ハッピーマッチ以外の出会いの場にも効果を期待する。(南あわじ市縁結び事業補助金交付要綱)</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>民間企画ならではの交流イベントを提供することで、新鮮な出会いが生まれ、成婚へつながることが期待される。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>市から負担金として協議会に支出している。</p> <p>*プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の一般財源が軽減できる。 ・イベント当日の現金決済が容易で、当日の人数変更など急な事態にも対処しやすい。 <p>*マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス借上げ料が参加者負担になると参加料が高額になり、参加しにくくなる。参加料が参加人数に左右されると計画を立てにくい。 ・イベント会場の範囲が限られてくると変化がなくなる。 ・市民に、結婚促進の気運が低下するようなイメージを与えてしまう。 	